

## 総括

### ■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

### ■ 認定の種別

書面審査および5月30日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

### ■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」  
該当する項目はありません。

#### 1. 病院の特色

貴院は、2001年に開設された石川県加賀地域の急性期中核病院として循環器科および整形外科中心の診療を行っているが、前身は1968年に国内初の民間リハビリテーション専門病院として設立されたリハビリテーション加賀八幡温泉病院である。その流れを受けてやわたメディカルセンターでも設立当初から回復期リハビリテーション病棟が運営されている。自院急性期病棟および近隣急性期病院の急性期治療後の受け皿として回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟を運営され、急性期から回復期までの切れ目のない医療が提供されている。特に回復期リハビリテーション病棟は2024年度の病床稼働率97.9%で、地域における回復期医療のニーズにしっかりと対応されている。職員教育・資格取得などの質向上にも積極的に、加賀地域のリハビリテーション医療を牽引する存在として、今後一層の発展を遂げられることを祈念する。

#### 2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

「あなたの健康が私たちの願いです」という基本理念のもと、ICFに基づいた病院基本方針、リハビリテーション理念・基本方針を多職種の意見を取り入れて策定し、地域の医療提供体制に則した病院運営が行われている。回復期リハビリテーション病棟には専任リハビリテーション科専門医2名をはじめ、必要な専門職が十分な量配置されているとともに、病院には歯科医、歯科衛生士も常勤配置されている。各専門職に求められるスキルやキャリアに応じた育成計画が明示され、それに沿った教育・研修ならびに役割付与が適切に行われており、資格取得に関しても支援体

制が整っている。退院後もリハビリテーション・ケアが継続できるように社会福祉士を中心に地域連携の強化を図っている。安全管理は医療安全管理部門によって安全確保の組織体制が確立しており、回復期リハビリテーション病棟においては、転倒ラウンド、身体拘束最小化カンファレンスやブロックミーティングで対策の評価・立案を行い現場へフィードバックしている。病棟運営上の課題に関しては分科会を設け、スタッフ参加型で計画の立案と実行を行っている。病棟における集団訓練など、個別リハビリテーション以外にも活動性を高める取り組みが行われている。

### 3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

病棟専従・専任職種以外に、薬剤師、歯科医、歯科衛生士が適切に関わり、充実した多職種チームアプローチが実践されている。医師は常勤専門医2名が回復期リハビリテーション病棟に配置され、チームリーダーとしての役割を実践している。看護師、療法士共に各職種の認定資格者が配置され、回復期リハビリテーション病棟協会の認定看護師、セラピストマネージャーも複数名配属され、積極的に活動している。介護職12.4名中、5人が介護福祉士で、入浴・排泄を中心にに関わり、積極的に自立に向けたケアの介入を行っている。いずれの職種からも積極的な発信があり、医師を中心とした情報共有と課題解決が日頃から実践されている。社会福祉士は2.5名の専従・専任配置があり、患者の入院から退院まで一貫してかかわり、リハビリテーション・ケアの進捗を踏まえた患者・家族への退院支援を適切に行っている。管理栄養士は1名の病棟専任配置があり、週5日のミールラウンド、VF・VE、リハビリテーション場面などで患者の状態を把握し、栄養管理・摂取方法・栄養指導など包括的に関わっている。

### 4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

入院当日に多職種による合同診察が行われ、基本的な生活機能が評価されている。入院時における評価・治療計画は医師を中心とした多職種により患者・家族に適切に説明されている。入院後の各専門職の評価を経て初期カンファレンスが実施され、ICFシートの情報も踏まえてリハビリテーション総合実施計画書が作成されている。医師主導による定期カンファレンスにてリハビリテーション・ケアの進捗確認、目標・計画の見直しを行い、リハビリテーション総合実施計画書が作成され、患者・家族に対して医師が説明し同意を得ている。看護・介護職は病棟での実践歩行や集団レクなど、ADL向上に計画的に関わっている。患者の情報や目標は電子カルテ内に集約され、ADL能力やケア方法の変更は電子カルテ内のADL経過表で共有するとともに、ベッドサイドにも表示している。在宅復帰に関わる情報は入院時に収集され、入院早期の在宅訪問等を必要に応じて実施している。患者・家族の希望、患者の重症度、家族の介護能力等を多職種で評価・検討し適切な支援が行われている。退院前訪問や、介護指導、退院前カンファレンスなど在宅復帰に向けた

介入も適切に実施されている。退院後の状態は外来および訪問リハビリテーションにて確認するとともに、リハビリテーション検討会にて課題の抽出や議論を行い、病院にもフィードバックしている。

## 1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

### 評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	II
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	II
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	II
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	II
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	II
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	II
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	II
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	II
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	I
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	II
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	II
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	II

## 2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

### 評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	II
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	II
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	II
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	II

---

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
-------	-------------------------	---

---

2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
-----	--------------------------------	--

---

2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
-------	---------------------	---

---

2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
-------	------------------------------	---

---

2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
-------	--------------------------	---

---

2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
-------	-------------------------	---

---

### 3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

## 評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	Ⅱ
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	Ⅱ
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	Ⅱ
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅱ
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	Ⅱ